

CITIZEN 電波時計 (デジタル目覚まし時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D020-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 明るいとこではソーラー電源、暗いところでは内蔵電池で駆動して電池を長寿命化
- 温度と湿度を同時表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y0707)

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくために (はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■リチウム電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■一次電池の交換について



注意

- 一次電池の交換は販売店にご相談ください。一次電池の残量が少なくなると、光発電の不足により、表示が薄くなったり正常に動かなくなる場合があります。電池の交換は故障の原因となりますので、ご家庭で行わないで、販売店にご相談ください。



分解禁止

- 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

- 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

時間精度	●電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒 ●電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ (注1)
使用電池	内蔵電池 リチウム電池 CR2477 1個 リチウム電池 CR2032 1個
電池寿命	内蔵電池のみで約5年(アラーム10秒/日使用) 光発電と内蔵電池と併用で6年以上 (注2)
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音(鳴り方が変化)
その他	ソーラーセル・薄膜太陽電池 標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 最多1日3回 標準電波受信機能ON/OFF切り替え 時刻表示 12時間/24時間制切り替え表示 カレンダー 2007～2099年 西暦、月日、曜日 アラーム アラームオートストップ 温度表示 -9.9～+50℃ 温度精度±2℃ 湿度表示 20～95% 湿度精度±10%(温度5～50℃)

(注1) 液晶表示は0～40℃の温度範囲を超えると見えにくくなる場合があります。

(注2) 光発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

○ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。

○時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

時刻、カレンダー、アラーム時刻は再度設定してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえ、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

A. 電源について

この時計は、明るいとこでは光発電で、暗いところでは内蔵電池で駆動します。光発電と内蔵電池を併用することにより、電池寿命を6年以上(注)と長寿命化を図っています。

(注)1日に200ルクスの明るさで約8時間発電する必要があります。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ068」をお伝えください。

お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

B. 電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。※標準電波の時刻情報は、およそ10年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

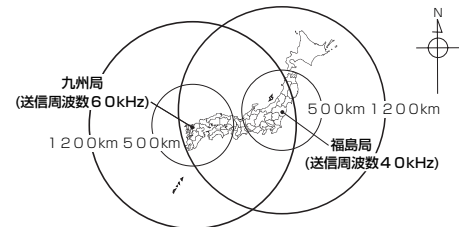
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

5 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

◎本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的で使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

測定範囲を超えた場合の表示

温度:「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温
湿度:「HH」95%を超えた 「LL」20%未満
湿度は温度が5℃未満または50度を超えると「--」を表示

6 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

- リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
- 「ピ」と鳴ったらすぐに押してください。
- 3回目は「ピ」と鳴りません。
- カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。

○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

7 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。

◎手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン

電源スイッチをONにした直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00 アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

<裏面操作部>



角度調節が出来ます。(3段階)
※無理に動かすと破損します。

液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

ソーラーセル
光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

【参考】

照度	環境の目安
150ルクス	一般的なリビング
300ルクス	明るいリビング内・オフィス
700ルクス	明るいオフィス

◎寝室や窓のないところでは十分な明るさが得られない場合があります。

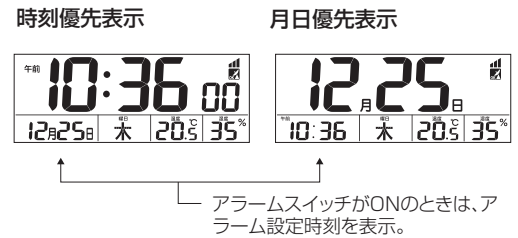
説明項目番号

- 時刻合わせボタン…………… 3
- 強制受信ボタン…………… 7
- 表示切替ボタン…………… 4
- 12/24h切替ボタン…………… 4
- リセットボタン…………… 6/7
- 電源スイッチ…………… 1

4 表示の切り替え

時刻/日付優先表示切り替え

◆表示切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。

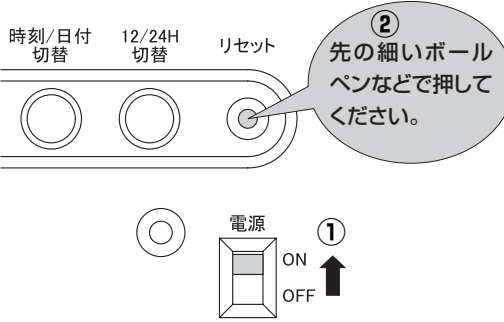


12時間制/24時間制表示切り替え

◆12/24hボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。午前/午後付き12時間制⇄24時間制表示

●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替え操作はできません。

1 電波を受信して時刻を合わせる



手で時刻を合わせるときには、「3 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電源スイッチをON側にする
 - リセットボタンを押す
「ピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
 - 受信結果を確認する
受信には最長20分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。→「受信の流れと表示」参照
- ◎受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

【受信の流れと表示】

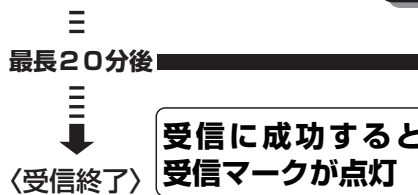
<リセットボタンを押した直後>



受信マーク (受信中点滅)



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、時刻は午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。



受信マークは受信成功後、24~25時間点灯 (受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。



(受信に失敗したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

Q&A

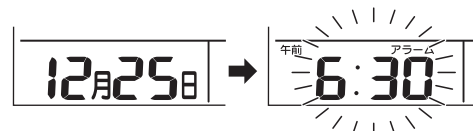
Q. なぜ電源スイッチがついているのか?
電源スイッチは、内蔵電池が消費しないようにするためです。時計を使わないときは電源スイッチをOFFにしてください。

Q. 暗くなると表示が消えて止まる。
内蔵電池が消耗したためです。
☞「A. 電源について」参照

Q. 電源スイッチをOFFにしても表示が消えない。
回路内に電気が残っているためです。電源スイッチをOFFに切り替えたあと数分間は動作しています。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



<表示例>
アラームスイッチがOFFのときに操作した場合

◆午前/午後の表示に注意
表示されていない場合は、24時間制の表示です。

- 進むまたは戻るボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- 時刻を合わせる
戻るまたは進むボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
- およそ5秒間ボタン操作をしない
アラーム時刻合わせを自動的に終了します。

アラームのON/OFF設定



- アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る
○アラーム設定時刻を表示 (アラームの文字有)
- アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない
○月日または現在時刻を表示

アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、アラーム時刻を現在時刻より1~2分先に合わせてください。時間になるとアラームが鳴り出します。

アラームオートストップ機能

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。自動停止した場合、アラームスイッチはONのままです。翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。停止させるためにはアラームスイッチをOFFにします。

3 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。☞「6 電波受信機能のON/OFF操作」
- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

操作例. 2008年12月25日 午前10:36に合わせる



- 時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。